

事例の名称	森吉山ダム本体工事CM試行業務
-------	-----------------

事例の所在地	秋田県北秋田市森吉地内
発注者	国土交通省 東北地方整備局
応募者	鹿島・日本工営設計共同体
業務期間	2002年5月～2008年3月

事例の規模・用途

規模

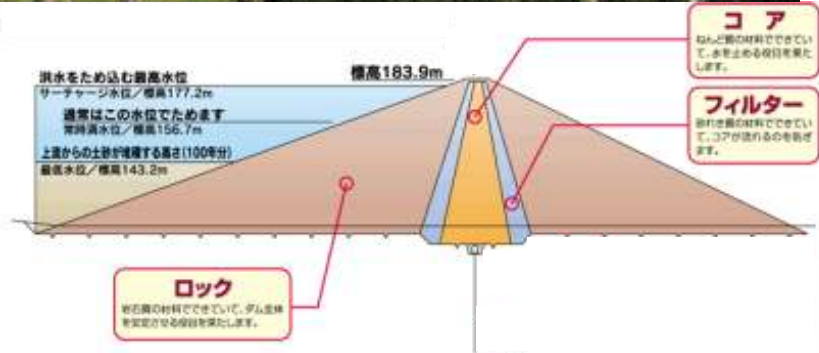
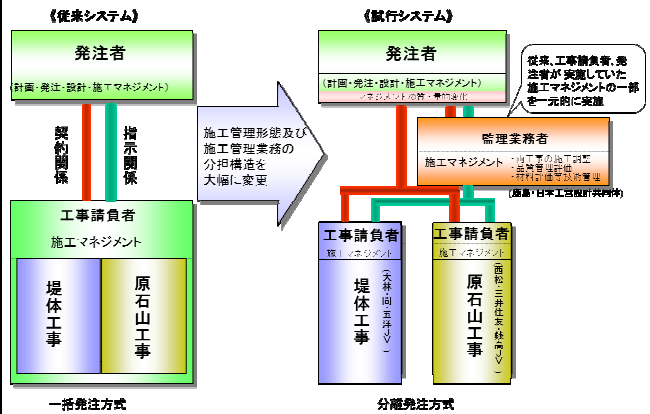
- ・ダム形式 : 中央コア型ロックフィルダム
- ・堤 高 : 89.9m
- ・堤頂長 : 786.0m
- ・堤体積 : 5,850,000 m³
- ・総貯水容量 : 78,100 千m³

用途

- ・洪水調節
- ・流水の正常な機能の維持
- ・かんがい用水の補給
- ・水道用水の供給
- ・発電

プロジェクトの組織図

従来一括発注されていた堤体工事と原石山工事を分割発注するとともに、施工マネジメントの一部を一元的に行うCM業務を試行



事例の名称	森吉山ダム本体工事CM試行業務
-------	-----------------

【プロジェクト目標】

1. 監理業務内容管理(スコープ管理) : 施工マネジメントプログラム(CMP)を作成し、業務手順及び業務担当者の役割を明確にして、より効果的なマネジメント業務の活用を図る
2. 工事工程管理 : 適宜の工程調整及び工程短縮の方策を検討して、ダム事業機能の早期発現を図る
3. 品質管理 : 十分な品質を有し、ダム機能を長期的に発揮させるべく、品質の保持を実現する
4. コスト管理 : 発注者に適正な技術的判断材料を提供し、コスト縮減を具体的に取り組む

(成果)

- ・円滑な工事運営を実現
- ・盛立工程を1年前倒し
- ・成果物であるダム堤体の品質向上
- ・コスト縮減

【建設生産システムへの関与】

1. 本業務は施工段階からの対象で、設計者及び工事施工者選定の関与なし
2. 分割発注されている工事施工者間の調整により、円滑に工事を進捗させる
3. 発注者、工事施工者の双方の立場で調整ができる

(成果)

- ・CMrの評価及び活用機運が高まり、円滑に工事が進捗
- ・工事施工者の高い技術力を活用して、より生産性の高い建設工事を実現

【取り組み体制】

	役割分担
管理技術者	・業務全般の責任者 ・CMP上で指定する担当業務の責任者 (主に堤体工事)
主任技術者	・工事の技術全般に対する責任者 ・CMP上で指定する担当業務の責任者 (主に原石山及び洪水吐工事)
技術員(2名)	・管理業務者及び主任技術者の責任の下で業務分担する ・CMP上で指定する担当業務の担当者
本社・支店	・CMrが所有しない技術の支援 (環境、地質等) ・CMr内で実施することが困難な作業の支援 (コスト縮減提案作成等)

(CMPより抜粋例)

業務項目	実施時期	業務対象	関係会議 及び 報告事項	役割分担			
				管理 技術者	主任 技術者	技術員 (下意)	技術員 (渡辺)
(1) 日視確認 と報告	その都度	運搬材料の適否	報告記録簿	○	◎	*	○
		運搬道路の 管理状況		○	◎*	○	○
	現場巡回時 その都度	盛立方法等		○	◎	○	*
(2) 盛立後の 品質試験 結果の評 価と報告	毎月	盛立品質管理試験	監理業務月間 報告書	○	◎	*	○

◎ 実施責任、* 実務担当、○ 担当

(成果)

- ・施工マネジメントプログラム(CMP)を工事施工者に提示し、発注者、工事施工者、CMrの3者の共通認識を共有し、業務を遂行

【CM手法の創意工夫】

1. 施工マネジメントプログラム(CMP)の作成と関係者周知
2. 日々の施工調整打ち合わせを実施し、直近の作業内容及び工事施工者の要望を調整

(成果)

- ・事業全体の円滑な推進